

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記の項目につきまして検査内容を変更させていただく事になりましたので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬白

記

《検査項目》 [26520] 非結核性抗酸菌M I C (ブロスミックNTM)
 《変更日》 2024年3月30日(土)受付分より
 《変更内容》

検査コード	変更箇所	変更後		変更前
26520	項目名称	非結核性抗酸菌M I C		非結核性抗酸菌M I C (ブロスミックNTM)
	報告薬剤	非結核性遅発育抗酸菌 (SGM)	迅速発育抗酸菌 (RGM)	非結核性抗酸菌
		CAM (クラリスロマイシン) AZM (アジ スロマイシン) MFLX (モキシフロキサシン) STFX (シタフロキサシン) AMK (アミカシン) KM (カナマイシン) MINO (ミノサイクリン) DOXY (ドキシサイクリン) INH (イソニアジド) LZD (リネゾリド) EB (エタンブトール) TH (エチオナミド) RBT (リファブチン) RFP (リファンピシム)	AMK (アミカシン) TOB (トブラマイシン) IPM (イミペネム) FRPM (ファロペネム) LVFX (レボフロキサシン) MFLX (モキシフロキサシン) AZM (アジ スロマイシン) CAM (クラリスロマイシン) ST (スルファメトキサゾール/ トリメトプリム) ※ DOXY (ドキシサイクリン) MEPM (メロペネム) LZD (リネゾリド) CLF (クロファキシム) STFX (シタフロキサシン)	SM (ストレプトマイシン) EB (エタンブトール) KM (カナマイシン) RFP (リファンピシム) RBT (リファブチン) LVFX (レボフロキサシン) CAM (クラリスロマイシン) TH (エチオナミド) AMK (アミカシン)

※ST (スルファメトキサゾール/トリメトプリム)につきましては、スルファメトキサゾールのM I C値を報告いたします。

*裏面へ続く

抗酸菌は結核菌と非結核性抗酸菌に大きく分けられ、非結核性抗酸菌は更にその発育の速さによって遅発育抗酸菌 (slowly growing mycobacteria: SGM) と迅速発育抗酸菌 (rapidly growing mycobacteria: RGM) に分けられます。非結核性抗酸菌症は多剤併用化学療法による長期間の治療を必要とするため、適切な薬剤選択が重要です。本検査は CLSI M24 3rd Edition に準拠しており、SGM、RGM それぞれに対応した薬剤感受性検査で、非結核性抗酸菌症の治療方針の決定に有用です。

《注意事項》

- 既に培養同定と共にブロスミックNTMでご依頼されている場合で、3月30日(土)以降に薬剤感受性検査に入るものについては、新しい方法で検査しご報告させていただきます。
- 貴施設にて抗酸菌の培養同定検査を行った後の菌株でご提出の場合は、単独で分離されている事をご確認いただいた上、菌種名を依頼書にご記入ください。
- 同定されていない菌株でご提出の場合は、抗酸菌同定(質量分析)(検査コード:23449)も同時にご依頼ください。菌種確定後に検査を行います。